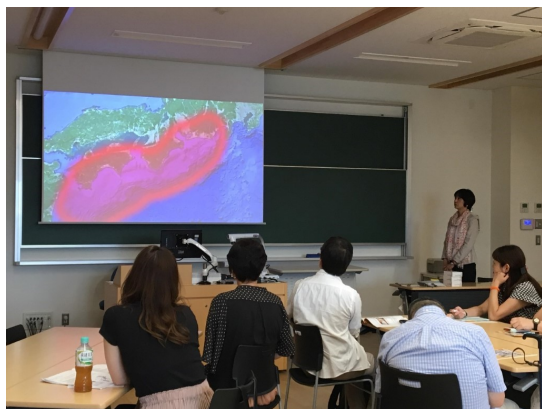


【E部門】  
自然災害をともに考える  
る

助成団体  
En cheri Lab.



**be Orange**



# 活動の様子

# | 活動内容

## 1. フォーラム開催

基調講演「自分ごととしての防災～助け合いと相互信頼～」に加え、日本最大のポータルサイト等のサービスを提供している企業より天気・災害の防災への取り組みについて、情報提供を行っていただく。

## 2. サバイバル・ランゲージ・カードを用いた防災ワークショップの実施

## 3. 内閣官房国土強靱化推進室の取り組みである全国の防災ワークショップに参加（2回）

\* 予定していたワークショップのうち2回は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、それぞれ開催延期と中止とし、今後調整し開催予定。

\* 2019年10月14、15日に予定していた東日本大震災被災地見学は、令和元年東日本台風により再調整。実施日程は、新型コロナウイルス感染症が収束したのち調整。

# ｜ 活動実施による効果

(地域への影響や認知症当事者の方の変化など)

- 1.フォーラムでは、地域の人を含め職種に関係なく参加していただくことができた。地域には認知症の人や高齢者、障がいのある方等様々な方が生活していることを改めて意識していただくことができ、防災を自分ごととして考えていただくことができた。情報提供を行っていただいた企業様へは、認知症の人の理解や困りごと等を知っていただく機会となった。
- 2.ワークショップでは、パターンランゲージのカード（サバイバル・ランゲージ・カード）を用い、それぞれが思っていることや考えていることをアウトプットしていただくことで、参加者それぞれが自分ごとの防災として考え、実行に移そうという行動の変化につながった。認知症の人や高齢者、障がいのある方などの防災も一緒に考えることができた。
- 3.全国の防災ワークショップでは、地域で防災の取り組みをされている方々と意見交換ができた。活動報告をすることで、認知症の人や高齢者の防災について、関心を持っていただき、考える機会になったのではないかと思う。

# | 助成金の使用実績

助成額：500,000円

印刷製・・・・・・・・・・ 7,097円

郵送料・・・・・・・・・・ 3,850円

旅費交通費・・・・・・・・ 66,560円

謝金・・・・・・・・・・ 10,000円

会議費・・・・・・・・・・ 97,119円

物品購入費・・・・・・・・ 24,251円 (カード、ワークショップ必需品)

機器設備購入費・・・・ 103,982円

合計・・・・・・・・・・ 312,859円

※2019年度未実施活動内容に関わる今後の助成金使用予定額：225,000円